

重点改革項目Ⅱ 市民や民間とのパートナーシップ・連携の深化

取組項目(中項目)	3 民間活力の効果的な活用と制度的検証		No.	38			
具体的な取組項目(小項目)	1 民間活力の効果的な活用に向けた検討・実施		担当課	行政経営課			
改革実施項目名称(細項目)	外郭団体評価の継続実施による団体の経営改善(市と団体の関与の最適化と、より効率的・効果的な評価方法に改善し実施)						
現状と課題(これまでの取組み)	外郭団体見直し方針・外郭団体経営改善計画(平成17～21年度)に基づき、外郭団体の見直しを実施。平成19年度から「外郭団体評価システム」を同時に運用し、経営改善を図ってきた。現在は、評価システムのみ実施しているが、より効率的な評価方法を検討するとともに、改めて市と団体との関与について検証が必要である。						
事業の目標・目的(考えられる効果)	《計画期間の目標》 外郭団体の組織、事業、財務上等、経営全般について評価を実施し、団体の自立的・効率的な経営を促進する。						
	《事業の最終目標》 市と団体の関与の最適化を図る。						
取組の内容	外郭団体に対し、外部の評価アドバイザーの意見を参考に評価を実施。 ・外部の視点から団体のあり方、市との関与状況などについて意見を伺い、見直しを図る。						
改革実施概要	取組工程(具体的な内容)	現状(平成26年度)	平成27年度		平成28年度		中間目標/29年度以降
			計画	実績	計画	実績	
		全団体に対し評価を実施 総合評価については、評価結果に基づき2～3年に1度実施	・外郭団体評価の実施とその結果に基づく外郭団体への経営健全化に向けた助言、指導 ・外郭団体と市との関与縮小に向けた見直し	全18団体に対して団体の自己評価と所管課による評価を実施し、現状の課題を確認し、課題の改善に向けて今後の取組みを検討した。また、これまでの評価結果に基づき選定した9団体に対して、外部の専門家によるヒアリングを実施し、経営の健全化や、団体と市との関与縮小に向けた助言を頂いた。 専門家の助言を踏まえ、ヒアリング対象団体に対して市としての総合評価をし、これまでの取組みに対する助言や改善指示を行った。	・外郭団体評価の実施とその結果に基づく外郭団体への経営健全化に向けた助言、指導 ・外郭団体と市との関与縮小に向けた見直し	全18団体に対して団体の自己評価と所管課による評価を実施し、現状の課題を確認し、課題の改善に向けて今後の取組みを検討した。また、これまでの評価結果に基づき選定した8団体に対して、外部の専門家によるヒアリングを実施し、経営の健全化や、団体や市との関与縮小に向けた助言を頂いた。 専門家の助言を踏まえ、ヒアリングの対象団体に対して市としての総合評価をし、これまでの取組みに対する助言や改善指示を行った。	・引き続き、評価システムを運用し、外郭団体の自立的な経営を促進するとともに、市との関与についても見直しを図る
指標	外郭団体数	18	18	18	18	19	18

進捗管理	(各年度10月に実施)		平成27年度		平成28年度		※平成29年度上半期に計画期間の中間評価を実施する。
	取組の状況	上半期(4～9月)	全団体を対象に団体の自己評価及び所管評価を実施。そのうち、総合評価対象の9団体に対して、外部の評価アドバイザーによるヒアリングを実施した。	予定通り進捗	全団体を対象に団体の自己評価及び所管評価を実施。そのうち、総合評価対象の8団体に対して、外部の評価アドバイザーによるヒアリングを実施した。	予定通り進捗	

年度評価	(年度終了後に実施)		平成27年度		平成28年度		
	取組工程、指標に対する評価		自己評価及び所管課評価、また、外部の専門家の助言を踏まえた総合評価を実施し、これまでの取組成果の確認、評価と、今後の課題の抽出及び改善に向けた助言ができた。	B	既存の外郭団体から分離し、新たに一つ外郭団体ができたため、外郭団体数は19となり、目標は達成できなかったが、職員派遣数の減少など、市の関与は少しずつ縮小している。	C	
	課題、今後の方針、改善事項など		引き続き外郭団体の経営健全化に向けた取組みと、団体と市との関与の縮小に向けた取組みを実施する。		引き続き外郭団体の経営健全化に向けた取組みと、団体と市との関与の縮小に向けた取組みを実施する。		

計画期間の中間評価	(平成29年度に実施)		中間評価			平成29年度以降
	取組工程、指標に対する評価(指標の適正性等)		新たに一つ外郭団体ができたため、指標は達成できなかったが、総合評価の団体には外部のアドバイザーによるヒアリングをもとに改善指示を示し、団体の改善の方向性を示すことで経営改善や市の関与の縮小に寄与している。		C	団体の改善状況を的確に把握するために、各種取組みについて目標となる客観的な指標を設定し、取組みの成果を事後に検証・評価できる仕組みを構築する。
	課題、今後の方針、改善事項など		団体の各種取組みについては、総論的で具体性に欠ける傾向があり、改善状況の評価が難しい事例が見受けられるため、具体的な成果目標や指標を設定したうえで、改善状況を客観的に把握する必要がある。			

重点改革項目Ⅱ 市民や民間とのパートナーシップ・連携の深化

取組項目(中項目)	3 民間活力の効果的な活用と制度的検証	No.	38
具体的な取組項目(小項目)	1 民間活力の効果的な活用に向けた検討・実施	担当課	行政経営課
改革実施項目名称(細項目)	外郭団体評価の継続実施による団体の経営改善(市と団体の関与の最適化と、より効率的・効果的な評価方法に改善し実施)		
現状と課題(これまでの取組み)	外郭団体見直し方針・外郭団体経営改善計画(平成17～21年度)に基づき、外郭団体の見直しを実施。平成19年度から「外郭団体評価システム」を同時に運用し、経営改善を図ってきた。現在は、評価システムのみ実施しているが、より効率的な評価方法を検討するとともに、改めて市と団体との関与について検証が必要である。		
事業の目標・目的(考えられる効果)	《計画期間の目標》 外郭団体の組織、事業、財務上等、経営全般について評価を実施し、団体の自立的・効率的な経営を促進する。		
	《事業の最終目標》 市と団体の関与の最適化を図る。		
取組の内容	外郭団体に対し、外部の評価アドバイザーの意見を参考に評価を実施。 ・外部の視点から団体のあり方、市との関与状況などについて意見を伺い、見直しを図る。		

改革実施概要	取組工程(具体的な内容)	現状(平成26年度)	平成29年度		平成30年度		最終目標/31年度以降
			計画	実績	計画	実績	
	全団体に対し評価を実施 総合評価については、評価結果に基づき2～3年に1度実施	・外郭団体評価の実施とその結果に基づく外郭団体への経営健全化に向けた助言、指導 ・外郭団体と市との関与縮小に向けた見直し	全19団体に対して団体の自己評価と所管課による評価を実施し、現状の課題を確認し、課題の改善に向けて今後の取組みを検討した。また、これまでの評価結果に基づき選定した8団体に対して、外部の専門家によるヒアリングを実施し、経営の健全化や、団体や市との関与縮小に向けた助言を頂いた。 専門家の助言を踏まえ、ヒアリングの対象団体に対して市としての総合評価をし、これまでの取組みに対する助言や改善指示を行った。	・外郭団体評価の実施とその結果に基づく外郭団体への経営健全化に向けた助言、指導 ・外郭団体と市との関与縮小に向けた見直し	全19団体に対して団体の自己評価と所管課による評価を実施し、現状の課題の確認と改善に向けての今後の取組みについて検討した。また、これまでの評価結果に基づき選定した6団体に対して、外部の専門家によるヒアリングを実施し、経営の健全化や、団体と市との関与縮小に向けた助言を頂いた。 専門家の助言を踏まえ、ヒアリングの対象団体に対して市としての総合評価をし、これまでの取組みに対する助言や改善指示を行った。	・引き続き、評価システムを運用し、外郭団体の自立的な経営を促進するとともに、市との関与についても見直しを図る	
指標	外郭団体数	18	18	19	18	19	18

進捗管理	(各年度10月に実施)		平成29年度		平成30年度	
	取組の状況	上半期(4～9月)		予定通り進捗		予定通り進捗
			全団体を対象に団体の自己評価及び所管評価を実施。そのうち、総合評価対象の8団体に対して、外部の評価アドバイザーによるヒアリングを実施した。	予定通り進捗	全団体を対象に団体の自己評価及び所管評価を実施。そのうち、総合評価対象の6団体に対して、外部の評価アドバイザーによるヒアリングを実施した。	予定通り進捗

年度評価	(年度終了後に実施)		平成29年度		平成30年度	
	取組工程、指標に対する評価			C	外郭団体数は引き続き19であり、目標は達成できなかったが、職員派遣数の減少など、市の関与は少しずつ縮小している。	C
	課題、今後の方針、改善事項など		引き続き外郭団体の経営健全化に向けた取組みと、団体と市との関与の縮小に向けた取組みを実施する。		引き続き外郭団体の経営健全化に向けた取組みと、団体と市との関与の縮小に向けた取組みを実施する。	

計画期間の評価	計画期間の評価			平成31年度以降
	取組工程、指標に対する評価(指標の適正性等)		C	
	期間中に新たに外郭団体ができたため、指標は達成できなかったが、総合評価の団体には、外部アドバイザーによるヒアリングを基に改善指示を示し、団体の経営改善に向けた取組みや市の関与の縮小に寄与することができた。		C	外郭団体評価の継続実施による団体の経営改善を推進していく。
	引き続き、外部アドバイザーによるヒアリングを実施し、団体の経営健全化に向けて取り組んでいく。団体の各種取組みについては、改善状況が客観的に判断できるような目標・指標の設定を促していく。			